



平成17年12月20日

各 位

会社名 株式会社日立ハイテクノロジーズ
代表者名 執行役社長 林 将章
コード番号 8036 東証1部・大証1部

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 黒住 忠夫
コード番号 4549 東証1部

日立ハイテクノロジーズと栄研化学の 業務提携および資本提携に関するお知らせ

株式会社日立ハイテクノロジーズ（本社：東京都港区、以下、日立ハイテク）と栄研化学株式会社（本社：東京都文京区、以下、栄研化学）は、以下のとおり、資本提携を含めた業務提携を行うことについて合意に達し、本日開催の各社取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 提携に至った背景

国内の臨床検査システム市場は、様々な医療費抑制策が推進され、一段と経営の効率化と合理化が迫られる状況となっております。また、同市場は、欧米の企業が高い成長力によって、規模を拡大しつつあります。このような厳しい市場環境が続く臨床検査業界において、勝ち組として生き残り、さらにグローバルに成長していくためには、『臨床検査用装置』と『臨床検査薬』が一体となり、競争力を高めることが最善の戦略であるとの認識で一致し、業務提携を進めることと致しました。

さらに、本提携の協力関係を発展させるため、併せて資本提携を行うことと致しました。

今回の基本合意は、今後、益々、グローバルに競争激化が予想される臨床検査システム分野の中で、協力関係を構築し、連携を図ることが、相互の発展と成長に繋がるとの考えで、両社が一致したものであります。

2. 業務提携および資本提携の内容

(1) 業務提携の内容

臨床検査システム分野のグローバル市場において、両社がメリットを享受できる事業に関し、最大限のシナジー効果が創出できるよう、開発・製造・販売・サービスにおける相互の経営資源の活用や技術面の補完などを協力し合います。具体的には、両社共同で提携対象事業の決定、事業計画の作成を行っていきませんが、栄研化学のLAMP法を使用した遺伝子検査システムの開発などを対象としております。

また、栄研化学の既存製品の海外新市場展開などについての提携も検討を行っております。

(2) 資本提携の内容

両社の信頼・協力関係を深め、業務提携をより円滑に進めるため、日立ハイテックは、栄研化学が保有している自己株式の引受けにより、栄研化学の発行済株式総数の8.4%に相当する2,000,000株を取得します。

3. 両社の概要(平成17年9月30日現在)

(1) 日立ハイテック

商号	株式会社日立ハイテクノロジーズ	
主な事業内容	電子デバイスシステム、ライフサイエンス、情報エレクトロニクス、先端産業部材といったエレクトロニクス関連を中心とする各種商品の販売及び製品の製造事業並びにそれらの取引に関連する保守・サービス	
設立年月日	1947年(昭和22年)4月12日	
本店所在地	東京都港区西新橋一丁目24番14号	
代表者	執行役社長 林 将章	
資本金	7,938百万円	
総資産	419,471百万円	
売上高 (平成17年3月期)	936,865百万円	
従業員数	9,964名	
大株主構成及び 持株比率	(株)日立製作所	55.04%
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	4.91%
	日本マスタートラスト信託銀行(株)	3.58%
	資産管理サービス信託銀行(株)	2.49%
	日立ハイテクノロジーズ社員持株会	1.72%
相手方との関係	特別な関係はありません	

(2) 栄研化学

商 号	栄研化学株式会社		
主 な 事 業 内 容	体外診断用医薬品の製造販売および体外診断用自動分析装置の販売並びに LAMP法を使用した遺伝子検査関連製品の製造販売		
設 立 年 月 日	1939年(昭和14年)2月20日		
本 店 所 在 地	東京都文京区本郷一丁目33番8号		
代 表 者	代表執行役社長 黒住 忠夫		
資 本 金	6,897 百万円		
総 資 産	26,092 百万円		
売 上 高 (平成17年3月期)	22,867 百万円		
従 業 員 数	621 名		
大株主構成及び 持 株 比 率	日本マスタートラスト信託銀行(株)(田辺口)	23.35%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	15.95%	
	栄研化学(株)	8.67%	
	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4.14%	
	黒住忠夫	3.43%	
相手方との関係	特別な関係はありません		

4. 提携の日程

平成17年12月20日 日立ハイテク、栄研化学取締役会決議

平成17年12月20日 提携契約書の締結

5. 今後の見通し

今後、両社は提携効果の早期達成を図るべく、全力を尽くしてまいります。本提携が業績に与える影響につきましては、今後精査していく予定であり、現段階で詳細は未定です。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日立ハイテクノロジーズ 社長室 広報・IRグループ 芥川 達哉
TEL : 03-3504-5138 FAX : 03-3504-7123

栄研化学株式会社 社長室 広報部 渡辺 裕之
TEL : 03-3813-5405 FAX : 03-3813-2206 e-mail : koho@eiken.co.jp

【用語解説】

LAMP法

栄研化学が 1998 年、PCR 法に代わる遺伝子増幅技術として、独自に開発した新しい遺伝子増幅法です。反応は、サンプルとなる遺伝子、プライマー、鎖置換型 DNA 合成酵素、基質等を同一容器に入れ、一定温度(60～65)で保温することにより、増幅から検出までを 1 ステップの工程で行うことができます。鋳型が RNA の場合でも、逆転写酵素を添加するだけで DNA と同様に増幅が可能です。増幅効率が高く、DNA を 15 分～1 時間程度で $10^9 \sim 10^{10}$ 倍に増幅することができ、また、極めて高い特異性をもつため、目的とする DNA 配列の存在を増幅産物の有無で判定することができます。

(詳細 <http://loopamp.eiken.co.jp/>)